

欧州委員会による研究助成金（European Research Council (ERC) Grants）

「若手助成金」、「独立移行助成金」、「上級助成金」、「シネジーグラント」の4種類が主に存在し、申請資格や助成金額などがそれぞれ異なる。研究の卓越性が申請に求められるただ1つの要素となっており、すべての科学・技術関連分野を対象として世界中の研究者にその門戸が開かれている（国籍および年齢制限なし）。

概要

種類 ¹⁾	若手助成金 Starting Grants (SG)	独立移行助成金 Consolidator Grants (CG)	上級助成金 Advanced Grants (AG)	シネジーグラント Synergy Grants (SyG)
応募条件 ²⁾	博士号取得後 2～7 年	博士号取得後 7～12 年	10 年以上の研究実績 キャリアの段階は問わない	特になし
助成期間	5 年	5 年	5 年	6 年
助成総額 ³⁾	1.9 億円 + α	2.5 億円 + α	3.1 億円 + α	12.4 億円 + α
申請方法	オンラインポータルサイトによる電子申請（PI が提出）			
審査方法 ^{4) 5)}	書面審査 2 回 + インタビュー	書面審査 2 回 + インタビュー	書面審査 2 回 （インタビューなし）	書面審査 3 回 + インタビュー
スケジュール	公募〆切：19 年 5 月中旬 結果発表：20 年 8 月中旬	未定 （19 年 10 月 24 日公募開始）	未定 （20 年 5 月 14 日公募開始）	公募〆切：19 年 11 月 5 日 結果発表：20 年 11 月 9 日
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・助成期間の半分以上、欧州に研究滞在することがもう 1 つの大きな条件。 ・プロジェクトの構成員はチームあるいは、数学などのように個人研究が主流であれば申請者単独でもかまわない。チームの場合、国内研究者だけで構成されていても海外研究者を含めていても差し支えない。 			<ul style="list-style-type: none"> ・2～4 人のチーム編成（うち 1 人は例外的に欧州以外への滞在・研究活動が可能）

審査方法

	項目 1 研究計画の新規性、野心性、妥当性	項目 2 申請代表者の知的能力と創造性
審査基準 (SG,CG,AG)	<p>研究計画の画期性と潜在的なインパクト</p> <p>①研究課題がどれほどの重要性を帯びているのか</p> <p>②研究課題がどれほどのハイリスク／ハイリターンを含み得るのか</p> <p>③研究目的がどれほど野心的かつ研究の最先端を切り開きうるのか</p> <p>研究方法</p> <p>④研究課題が帯びるハイリスク／ハイリターンな性格を踏まえ、研究方法がどれほどの実現可能性にあるのか</p> <p>⑤研究方法が、研究目的に照らしてどれほどの妥当性にあるのか</p> <p>⑥研究計画からどれほどの新知見や新技術が想像されるのか</p> <p>⑦研究のスケジュールやリソース、申請者の関与がどれほど妥当かつ正当化しうるのか</p>	<p>⑧画期的成果を期待するに足るだけの能力を提示できているか</p> <p>⑨確固たる独創的知見の創出を期待するに足るだけの証拠を提示できているか</p> <p>⑩研究計画の成功に求められる専門性と能力を身につけているか（SG, CG のみ）</p> <p>⑪若手研究者の育成に関してどれだけ牽引的役割を果たしているか（AG のみ）</p>
審査基準 (SyG)	<p>上記①-⑦+下記</p> <p>⑫個人研究では達成不可能な領域をどこまで凌駕できるのか</p> <p>⑬提案された学術的連携が、研究課題の広がりや複雑さを解明するうえでどれほど不可欠なものなのか</p>	<p>上記⑧、⑩+下記</p> <p>⑭提案された学術的連携こそが研究課題に対する最適解を導きうることを、どこまで説得力を持って示しているか</p>

¹ このほか、過去の助成金採択者を対象とする「概念実証助成金 Proof of Concept Grants」が存在する。

² 育児休暇や臨床研修、医療疾患、あるいは兵役など正当な理由があれば、博士号取得後の時間制限は必ずしもこの限りではない。

³ 研究の立ち上げに必要な費用（スタートアップコスト）の追加受給も可能。

⁴ 一次審査に限っては、いずれの助成金においても申請書の Part B-1（後述）だけが評価対象。二次審査以降は全てが評価対象。

⁵ インタビューはブリュッセルで行われるが、やむを得ない場合はオンラインも可能。

申請書の構成

	Administrative Forms (Part A) (全部で 15 頁まで)	Research Proposal (Part B)	Supporting documentations
記載事項	<u>Part A</u> 1. General information 2. Participants & Contacts 3. Budget/resources 4. Ethics issues 5. Call-specific questions	<u>Part B-1</u> 1. Extended synopsis of the scientific proposal (5 頁まで) 2. Curriculum vitae (2 頁まで) 3. Achievements/track-record (2 頁まで) <u>Part B-2 (全部で 15 頁まで)</u> 1. State-of-art and objectives 2. Methodology	1. Ph.D certificate (AG,CG のみ) 2. Host Institution support letter 3. Documents related to the ethics review
備考		A4、最小 11pt、シングルスペース、余白左右 2cm 上下 1.5cm	オリジナルは欧州公認言語であればどの言語でも可能だが、その場合は英語訳をつけること

参考サイト

- ・ Information for Applicants to the Starting and Consolidator Grant 2020 Calls
https://ec.europa.eu/research/participants/data/ref/h2020/other/guides_for_applicants/h2020-guide20-erc-stg-cog_en.pdf
- ・ Information for Applicants to the Advanced Grant 2019 Call
https://ec.europa.eu/research/participants/data/ref/h2020/other/guides_for_applicants/h2020-guide19-erc-adg_en.pdf
- ・ Information for Applicants to the Synergy Grant 2020 Call
https://ec.europa.eu/research/participants/data/ref/h2020/other/guides_for_applicants/h2020-guide20-erc-syg_en.pdf

本配布資料は、European Research Council (ERC) Grants の要点を学術研究支援室の担当者が独自にまとめたものです。実際の申請準備にあたっては、必ず公式サイト of 応募要領を参照し正確な情報を得るようにしてください。